

親子の飲行動に関する一考察 —女子中学生とその両親—

加藤栄子^{*1}, 原田まつ子^{*2}, 関口紀子^{*2}, 東愛子^{*2}, 斎藤禮子^{*2}, 下川千代子^{*3},
五十嵐益恵^{*3}, 副島敏子^{*4}, 三石禮子^{*5}, 高木廣文^{*6}

(淑徳短期大学^{*1}, 東京家政大学^{*2}, 相模女子大学^{*3}, 聖徳大学^{*4}, 昭和女子大学^{*5}, 文部省統計数理研究所^{*6})

親子の飲行動に関する一考察 —女子中学生とその両親—

加藤栄子^{*1}, 原田まつ子^{*2}, 関口紀子^{*2}, 東愛子^{*2}, 斎藤禮子^{*2}, 下川千代子^{*3}
五十嵐益恵^{*3}, 副島敏子^{*4}, 三石禮子^{*5}, 高木廣文^{*6}

(淑徳短期大学^{*1}, 東京家政大学^{*2}, 相模女子大学^{*3}, 聖徳大学^{*4}, 昭和女子大学^{*5}, 文部省数理統計研究所^{*6})

A Study on Drinking Behaviors about Parents and Children Different of Junior high school girls and Their Parents

Eiko Katō, Matsuko Harada, Noriko Sekiguchi, Aiko Higashi, Reiko Saitō, Chiyoko Shimokawa, Masue Igarashi, Toshiko Soegima, Reiko Mitsuishi and Hirofumi Takagi

*¹ Shukutoku Junior College, 5-3-7, Maeno-chō, Itabashi-ku, Tokyo, 174-0063

*² Tokyo Kasei University, 1-18-1, Kaga, Itabashi-ku, Tokyo, 173-0003

*³ Sagami Women's University, 2-1-1 Bunkyo, Sagamihara-shi, Kanagawa, 228-0807

*⁴ Seitoku University, 531, Sagamidai Matudo-shi, Chiba, 271-8555

*⁵ Showa Women's University, 1-7-57, Taishido, Setagaya-ku, Tokyo, 154-0004

*⁶ The Institute of Statistical Mathematics, 4-6-7, Minami-azabu, Minato-ku, Tokyo, 106-0047

*¹ 〒174-0063 東京都板橋区前野町 5-3-7

*² 〒173-0003 東京都板橋区加賀 1-18-1

*³ 〒228-0807 神奈川県相模原市文京 2-1-1

*⁴ 〒271-8555 千葉県松戸市相模台531

*⁵ 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 1-7-57

*⁶ 〒106-0047 東京都港区南麻布 4-6-7

The relationship between the beverage drinking behavior and preferences of parents and children was assessed in a study of female junior high school students and their parents, and the following results were obtained. The female junior high school students drink fruit juices, cola drinks/carbonated beverages, isotonic beverages, coffee/tea(sugar added), lactic acid bacteria beverages, and dietary fiber beverages much more regularly than their parents. They tended to dislike vegetable juice, but their fathers tended to like them. The beverages that all three drink a great deal are green tea/oolong tea and milk. The junior high students and the mothers drink mlk and green tea/oolong tea during meals at home, and the fathers drink cola drinks/carbonated beverages and isotonic beverages during meals outside the home. The reasons for consumption differed according to the beverage. The students chose fruit juices, cola drinks/carbonated beverages, isotonic beverages, and dietary fiber beverages because of the physiological reason that "I am thirsty" and because "I enjoy them," fruit juices,

cola drinks/carbonated beverages, coffee/tea(sugar added), and lactic acid bacteria beverages, because "I like them," and all three selected milk because "It's good for your health". A high percentage of parents claimed that they drink green tea/oolong tea because "It's a custom." There were similarities in beverage drinking behavior especially between the female junior high school students and the mothers. This seemed to be because the eating environment of the students was managed by their mothers, and was inferred to be attributable to the influence of the mother in the home.

1. 緒 言

飲料の占める割合や役割の原点は、主に水分補給にあったわけであるが、最近はその水分補給の目的も種類も多様化され、消費量も伸びの一途を辿っている。その理由は、大都市においては水質汚染やカルキ添加による水道水の味の低下なども大きな原因であろう。今や国内はもちろん世界各国から名水やミネラルウォーターが業界の生産構造をかえつつある。また、関連各省庁が機能性役割を示唆すると、関連企業にいち早くキャッチされ、情報がマスコミによって宣伝される構図が定着しつつある。経済的に豊かになった消費者は水代わりとして、楽しみとしての価値もさることながら、好奇心と便利さと流行性に酔っているきらいもある。一方には、甘味飲料の飲みすぎによる栄養のアンバランスや健康障害なども報告されている。機能性飲料もイメージ優先のきらいがあり、日頃の食生活の中のバランス感覚を視点において「飲行動」について考える時期にきているのではないだろうか。

家計調査年報¹⁾、酒類統計食品年報²⁾などによる飲料の消費状況の推移からは、年々加工食品、飲料などの多様化、高級化とともに新しい嗜好好飲料の出現が見られた。また、近年各種飲料の自動販売機の普及に伴い、その利用者も増え、生産・販売量は増加傾向にある。親と子に

おける飲料の摂取状況・摂取時の理由や場所、時間帯なども変わってくるものと考えられる。

飲料についての調査は、本田³⁾らの日本茶と食事について、合田⁴⁾らの牛乳の飲用量と嗜好について、また、関^{5), 6)}らは女子大生を対象に飲料の摂取理由や季節別摂取量の差などの報告をしている。女子中学生とその両親の飲行動の差異や類似点などについては明らかにされていない。そこで著者は食生活環境が母親の管理下にあると思われる女子中学生とその両親を対象に飲料の摂取状況、嗜好、場所・時間帯、理由など、飲行動について調査し、図1に示した飲行動の流れを、飲料に対する意識から飲行動を見て、更にその背景となる動機を摂取理由より明らかにするため検討した結果、女子中学生とその両親において多少の差異と類似点を得たので報告する。

2. 調査方法

調査対象：都市近郊私立女子中学生276名とその両親（父親276名・母親276名）

調査時期：平成6年4月～5月

調査方法：女子中学生が各家庭へアンケート調査用紙を持ち帰り、女子中学生及び両親の自己記入式による方法とした。

調査内容：飲料の摂取状況・飲料の摂取時の場所・時

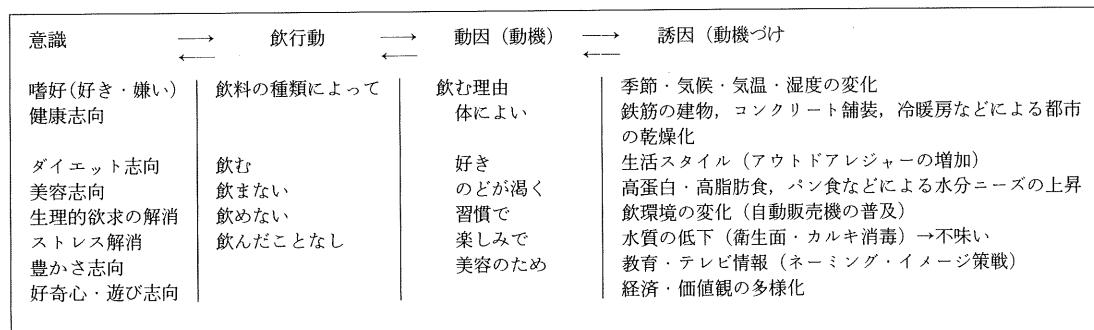


図1 「飲行動の流れ図」

表1 対象者の特性

対象者 年代	女子中学生 (n=276)		父親 (n=276)		母親 (n=276)*1	
	実数	%	実数	%	実数	%
10代	276	100				
20代			18	6.5	67	24.3
30代			228	82.6	203	73.6
40代			29	10.5	6	2.2
50代			1	0.4		
60代以上						
身長 cm	M±SD 155.2±6.8	CV 4.38	M±SD 169.4±5.4	CV 3.20	M±SD 156.7±4.8	CV 3.07
体重 kg	46.5±7.7	16.53	66.8±8.8	13.23	53.1±5.9	11.04
BMI	19.2±2.8	14.77	23.6±3.1	13.22	21.6±2.3	10.52
肥満度*2	実数	%	実数	%	実数	%
痩せ	79	32.4	42	16.3	56	21.8
普通	136	55.7	147	57.2	167	65.0
やや肥満	20	8.2	46	17.9	26	10.1
肥満	9	3.7	22	8.6	8	3.1

*1 母親の職業 有 118人 (43.4%)
無 154人 (56.6%)

*2 痩せ………-10%未満
普通………±10%
やや肥満……+10%以上～+20%未満
肥満………+20%以上

* 肥満度算出においては、第5次改訂日本人の栄養所要量性・年齢別BMI推計基準値を用いた。

間帯・嗜好及び理由・飲行動における親子の類似点を見た。

分析方法：百分率、女子中学生と両親の差異は χ^2 検定。さらに女子中学生と両親の一一致性をみるためマクネマー検定を HAZBAV⁹⁾により行った。

3. 結 果

(1) 対象者の特性

対象者の特性は表1に示すとおり、女子中学生（年齢13～15歳）とその両親で、父親・母親とも40代が多く、父親82.6%，母親73.6%を占めている。BMI(body mass index: 体重kg／身長m²)が女子中学生19.2±2.8、父親23.6±3.1、母親21.6±2.3で、肥満度については父親の26.6%，母親の13.2%がやや肥満・肥満者である。一方、母親の痩せは21.8%であるが、女子中学生は痩せ32.4%，普通55.7%と痩せ傾向の者が両親に比べて多い。また、実体型に対する意識について実体型±10%の普通区分の女子中学生は約50%以上、父親、母親は約60%以上が太りすぎと意識し、自己の体型に比べ肥満傾向にみ

ていた。

(2) 飲料の飲行動

1) 飲料の摂取状況

飲料別摂取状況は表2に示すとおり、全体では女子中学生・両親共に日頃飲んでいると回答している飲料は緑茶・ウーロン茶、果実飲料、牛乳、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）、スポーツ飲料で、三者とも50%以上の者が一日コップ1杯以上飲むと回答していた。一方、低脂肪牛乳、野菜ジュース、食物繊維飲料は40%以上の者が飲まないと回答している。日頃三者共よく飲んでいる飲料は、1位緑茶・ウーロン茶で92%以上と高い出現率であった。次いで2位が牛乳で80%以上の者が飲むと回答している。三者別にみると、1位女子中学生の果実飲料(96.7%)で、2位緑茶・ウーロン茶で、女子中学生(93.5%)、父親(92.9%)、母親(93.8%)、3位女子中学生のコーラ・炭酸飲料(84.8%)、スポーツ飲料(84.4%)、牛乳(83.0%)、乳酸菌飲料(62.2%)の順であった。

一方、三者共飲まない飲料は女子中学生の野菜ジュース(68.4%)、低脂肪牛乳(66.7%)、母親・父親の食物

表2 飲料の摂取状況

飲 物	有 無	全体		父 母		χ^2 検定	
		n = 828	n = 276	n = 276	n = 276	中学生 - 父親	中学生 - 母親
1 牛乳	飲む	677 (81.8)	229 (83.0)	221 (80.1)	227 (82.2)		
	飲まない	151 (18.2)	47 (17.0)	55 (19.9)	49 (17.8)		
2 低脂肪牛乳	飲む	287 (34.7)	92 (33.3)	106 (38.4)	89 (32.2)		
	飲まない	541 (65.3)	184 (66.7)	170 (61.6)	187 (67.8)		
3 乳酸菌飲料	飲む	560 (67.6)	227 (82.2)	162 (58.7)	171 (62.0)	***	***
	飲まない	268 (32.4)	49 (17.8)	114 (41.3)	105 (38.0)		
4 野菜ジュース	飲む	345 (41.7)	87 (31.6)	157 (56.9)	101 (36.6)	***	
	飲まない	482 (58.3)	188 (68.4)	119 (43.1)	175 (63.4)		
5 果実飲料	飲む	684 (82.6)	267 (96.7)	207 (75.0)	210 (76.1)	***	***
	飲まない	144 (17.4)	9 (3.3)	69 (25.0)	66 (23.9)		
6 緑茶・ウーロン茶	飲む	772 (93.2)	258 (93.5)	255 (92.4)	259 (93.8)		
	飲まない	56 (6.8)	18 (6.5)	21 (7.6)	17 (6.2)		
7 コーラ・炭酸飲料	飲む	547 (66.1)	234 (84.8)	158 (57.2)	155 (56.2)	***	***
	飲まない	281 (33.9)	42 (15.2)	118 (42.8)	121 (43.8)		
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	飲む	535 (64.6)	220 (79.7)	168 (60.9)	147 (53.3)	***	***
	飲まない	293 (35.4)	56 (20.3)	108 (39.1)	129 (46.7)		
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	飲む	489 (59.1)	115 (41.8)	169 (61.2)	205 (74.3)	***	***
	飲まない	338 (40.9)	160 (58.2)	107 (38.8)	71 (25.7)		
10 スポーツ飲料	飲む	519 (62.7)	233 (84.4)	168 (60.9)	118 (42.8)	***	***
	飲まない	309 (37.3)	43 (15.6)	108 (39.1)	158 (57.2)		
11 食物繊維飲料	飲む	334 (40.3)	153 (55.4)	93 (33.7)	88 (31.9)	***	***
	飲まない	494 (59.7)	123 (44.6)	183 (66.3)	188 (68.1)		

* 1 () は n に対する割合 (%). * 2 無回答・不明は除く.

* p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

繊維飲料 (66.3%・68.1%), 低脂肪牛乳 (61.6%・67.8%) である。

果実飲料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）、スポーツ飲料、食物繊維飲料は三者間に有意差が認められた ($P < 0.001$)。女子中学生は果実飲料、スポーツ飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）などの甘味飲料を好んで飲んでおり、父親は野菜ジュース、母親はコーヒー・紅茶（砂糖なし）を飲む出現率が高く特徴的であった。

2) 飲料を飲む場所・時間帯

飲料を飲む場所（家庭内・家庭外）は表3、時間帯（食事時・食事外）は表4に示す。

女子中学生、両親共に果実飲料、緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶（砂糖入り）を家庭内・外で飲んでおり、家庭内では牛乳、女子中学生 (96.5%), 父親 (82.6%), 母親 (92.8%), と低脂肪牛乳を飲む出現率が高く、次いで乳酸菌飲料、野菜ジュース、緑茶・ウーロン茶の順

であった。

一方、三者共スポーツ飲料、コーラ・炭酸飲料、食物繊維飲料を家庭外で飲んでいる。女子中学生は両親に比較して家庭内では乳酸菌飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）、家庭外では果実飲料を飲んでいる者が多く、また、女子中学生と母親は乳酸菌飲料、緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）、野菜ジュース、スポーツ飲料、食物繊維飲料を家庭内で父親に比べ飲んでいる者が多かった。女子中学生と父親は家庭外で果実飲料、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料、食物繊維飲料を母親に比べ多く飲んでおり、有意差 ($P < 0.001$) が認められた。

父親は牛乳、野菜ジュース、乳酸菌飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）を家庭外で ($P < 0.001$)、母親は果実飲料、コーラ・炭酸飲料を家庭内で女子中学生に比較して飲むものが多く、有意差 ($P < 0.001$) が認められた。女子中学生と母親は牛乳、低脂肪牛乳を家庭内

表3 飲料を飲む場所

飲物	場所	全体	中学生	父親	母親	χ^2 検定	
		n=828	n=276	n=276	n=276	中学生-父親	中学生-母親
1 牛乳	家庭内	603 (90.8)	222 (96.5)	176 (82.6)	205 (92.8)	***	
	家庭外	61 (9.2)	8 (3.5)	37 (17.4)	16 (7.2)		
2 低脂肪牛乳	家庭内	247 (92.5)	89 (98.9)	86 (86.0)	72 (93.5)	***	
	家庭外	20 (7.5)	1 (1.1)	14 (14.0)	5 (6.5)		
3 乳酸菌飲料	家庭内	413 (80.2)	179 (84.8)	94 (63.1)	140 (90.3)	***	
	家庭外	102 (19.8)	32 (15.2)	55 (36.9)	15 (9.7)		
4 野菜ジュース	家庭内	237 (73.4)	71 (83.5)	83 (57.6)	83 (88.3)	***	
	家庭外	86 (26.6)	14 (16.5)	61 (42.4)	11 (11.7)		
5 果実飲料	家庭内	366 (57.6)	128 (50.0)	98 (51.9)	140 (73.7)	***	
	家庭外	269 (42.4)	128 (50.0)	91 (48.1)	50 (26.3)		
6 緑茶・ウーロン茶	家庭内	480 (65.5)	174 (71.3)	124 (50.6)	182 (74.6)	***	
	家庭外	253 (34.5)	70 (28.7)	121 (49.4)	62 (25.4)		
7 コーラ・炭酸飲料	家庭内	197 (38.3)	74 (32.9)	40 (27.6)	83 (57.2)	***	
	家庭外	318 (61.7)	151 (67.1)	105 (72.4)	62 (42.8)		
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	家庭内	251 (50.4)	134 (65.4)	43 (27.0)	74 (55.2)	***	
	家庭外	247 (49.6)	71 (34.6)	116 (73.0)	60 (44.8)		
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	家庭内	218 (47.5)	72 (68.6)	36 (23.2)	110 (55.3)	***	
	家庭外	241 (52.5)	33 (31.4)	119 (76.8)	89 (44.7)	*	
10 スポーツ飲料	家庭内	160 (33.5)	85 (38.1)	29 (19.0)	46 (45.1)	***	
	家庭外	318 (66.5)	138 (61.9)	124 (81.0)	56 (54.9)		
11 食物繊維飲料	家庭内	129 (42.2)	71 (49.7)	18 (20.9)	40 (51.9)	***	
	家庭外	177 (57.8)	72 (50.3)	68 (79.1)	37 (48.1)		

* 1 () は n に対する割合 (%). * 2 複数回答

* p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

で圧倒的に多く飲んでいるのが特徴的であった。

飲料を飲む時間帯（食事時・外）については女子中学生、両親共に緑茶・ウーロン、牛乳を食事時・外で飲む者が多く、乳酸菌飲料、果実飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）、スポーツ飲料、食物繊維飲料は主に食事外で飲む者が多かった。三者間では特に女子中学生が両親に比較して牛乳を朝食時に飲む者が多かった。

女子中学生と父親は、母親に比べスポーツ飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り），特に父親は野菜ジュースを食事外に飲む者が多く、果実飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖なし）、スポーツ飲料、食物繊維飲料の三者間に有意差（P < 0.001）が認められた。

(3) 飲料の嗜好

飲料別摂取の嗜好は表5に示すとおり、全体的に嗜好度の高い順から緑茶・ウーロン茶、果実飲料、牛乳、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）で、スポーツ飲料は女子中学生、両親共に

70%以上の者が好き・普通と回答している。

一方、野菜ジュース、低脂肪牛乳、食物繊維飲料は約25~40%の者が嫌いと回答している。嗜好度の高い飲料の順位を三者間でみると、1位は果実飲料で女子中学生が好んで飲んでいる。また2位は緑茶・ウーロン茶で、女子中学生・両親とも同傾向であった。次いで母親の果実飲料、女子中学生のスポーツ飲料、乳酸菌飲料、父親の牛乳の順であった。果実飲料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り・なし）、スポーツ飲料、食物繊維飲料は三者間に有意差（P < 0.001）が認められた。父親は野菜ジュースを好む傾向があり、女子中学生間に有意差（P < 0.001）が認められた。

一方嗜好度の低い、嫌いは1位が野菜ジュースで、女子中学生（57.1%）、母親（46.7%）、父親（24.5%）と回答しており、女子中学生と父親間での有意差（P < 0.001）が認められた。

女子中学生が両親より好きでよく飲む飲料は果実飲料、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料であり、両親は、コー

表4 飲料を飲む時間帯

飲 物	時間帯	全体	中学生	父親	母親	χ^2 検定	
		n = 828	n = 276	n = 276	n = 276	中学生 - 父親	中学生 - 母親
1 牛乳	食事時	361 (43.6) * ¹	156* ² (56.5)	100 (36.2)	105 (38.0)	***	***
	食事外	378 (45.7)	128 (46.4)	121 (43.8)	129 (46.7)		
2 低脂肪牛乳	食事時	144 (17.4)	62 (22.5)	47 (17.0)	35 (12.7)		***
	食事外	151 (18.2)	54 (19.6)	51 (18.5)	46 (16.7)		
3 乳酸菌飲料	食事時	329 (39.7)	92 (33.5)	51 (18.5)	35 (12.7)	***	***
	食事外	369 (44.6)	145 (52.5)	100 (36.2)	124 (44.9)	***	
4 野菜ジュース	食事時	137 (16.5)	45 (16.3)	56 (20.3)	36 (13.0)		
	食事外	211 (25.5)	63 (22.8)	89 (32.2)	59 (21.4)	*	
5 果実飲料	食事時	250 (30.2)	151 (54.7)	54 (19.6)	45 (16.3)	***	***
	食事外	455 (55.0)	182 (65.9)	130 (47.1)	143 (51.8)	***	***
6 緑茶・ウーロン茶	食事時	527 (63.6)	170 (61.6)	164 (59.4)	193 (69.9)		*
	食事外	509 (61.5)	164 (59.4)	170 (61.6)	175 (63.4)		
7 コーラ・炭酸飲料	食事時	122 (14.7)	76 (27.5)	20 (7.2)	26 (9.4)	***	***
	食事外	406 (49.0)	172 (62.3)	120 (43.5)	114 (41.3)	***	***
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	食事時	237 (28.6)	96 (34.8)	78 (28.3)	63 (22.8)		*
	食事外	361 (45.6)	143 (51.8)	114 (41.3)	104 (37.7)	*	***
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	食事時	233 (28.1)	50 (18.1)	78 (28.3)	105 (38.0)	***	***
	食事外	357 (43.1)	85 (30.8)	122 (44.2)	150 (54.3)	***	***
10 スポーツ飲料	食事時	124 (15.0)	86 (31.2)	24 (8.7)	14 (5.1)	***	***
	食事外	353 (42.6)	156 (56.5)	119 (43.1)	78 (28.3)	***	***
11 食物繊維飲料	食事時	52 (6.3)	33 (12.0)	11 (4.0)	8 (2.9)	***	***
	食事外	254 (30.7)	125 (45.3)	70 (25.4)	59 (21.4)	***	***

* 1 () 内はnに対する割合 (%)

* 2 複数回答

* p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

ヒー、紅茶（砂糖なし）、次いで低脂肪牛乳で、有意差（P < 0.001）が認められた。

(4) 飲料の摂取理由

飲料別摂取理由の出現率を表6に示す。

1) 飲料の摂取理由別出現率の高い順に全体でみると、健康的理由の「体に良い」、生理的理由の「喉が渴く」、嗜好的理由の「好き」、習慣、心理的理由の「楽しみだから」、美容であった。

2) 摂取理由別出現率から飲料の摂取状況をみると女子中学生、両親共に健康的理由の「体に良い」と答えた飲料は1位牛乳、2位乳酸菌飲料、3位野菜ジュース、4位低脂肪牛乳、緑茶・ウーロン茶で、中でも女子中学生、両親共に牛乳の出現率が高く、女子中学生（52.9%）、父親（49.6%）、母親（63.0%）で、母親に、健康志向に対する意識度が高い傾向がみられた。

3) 生理的理由の「喉が渴く」の理由で飲む飲料は女子中学生、両親共に1位緑茶・ウーロン茶で、女子中学生

生（52.5%）、父親（38.4%）、母親（43.1%）で、2位がスポーツ飲料、次いでコーラ・炭酸飲料、果実飲料の順であった。

4) 女子中学生と両親の飲料別摂取理由の特徴をみると健康志向のための「体に良い」では牛乳、野菜ジュース、乳酸菌飲料、低脂肪牛乳であるが、三者共牛乳を圧倒的に多く飲んでいた。父親は野菜ジュースも「体に良い」という理由で飲んでいる者が35.5%である。嗜好的・生理的理由では女子中学生は1位果実飲料、2位コーラ・炭酸飲料、3位乳酸菌飲料、スポーツ飲料の順に飲んでおり、父親は1位がスポーツ飲料、2位がコーラ・炭酸飲料、3位緑茶・ウーロン茶、果実飲料の順であった。また、母親は1位が緑茶・ウーロン茶、2位がコーラ・炭酸飲料、3位果実飲料であり、三者間における飲料の摂取理由の特徴は、女子中学生は「体に良い」、「好きだから」、「喉が渴く」、「楽しみだから」で、父親は「体に良い」、「喉が渴く」、「好きだから」「習慣だから」、ま

表5 飲料の嗜好

飲 物	嗜好	全体	中学生	父親	母親	χ^2 検定	
		n = 828	n = 276	n = 276	n = 276	中学生 - 父親	中学生 - 母親
1 牛乳	好き	245 (29.6)	90 (32.6)	90 (32.7)	65 (23.6)	**	*
	普通	448 (54.2)	132 (47.8)	158 (57.5)	158 (57.2)		
	嫌い	134 (16.2)	54 (19.6)	27 (9.8)	53 (19.2)		
2 低脂肪牛乳	好き	74 (9.2)	24 (8.9)	33 (12.3)	17 (6.4)	***	
	普通	399 (49.6)	121 (45.0)	154 (57.5)	124 (46.4)		
	嫌い	331 (41.2)	124 (46.1)	81 (30.2)	126 (47.2)		
3 乳酸菌飲料	好き	258 (31.6)	132 (48.4)	63 (23.3)	63 (23.0)	***	***
	普通	419 (51.3)	114 (41.8)	151 (55.9)	154 (56.2)		
	嫌い	140 (17.1)	27 (9.9)	56 (20.7)	57 (20.8)		
4 野菜ジュース	好き	139 (17.0)	22 (8.1)	73 (26.6)	44 (16.2)	***	**
	普通	330 (40.3)	95 (34.8)	134 (48.9)	101 (37.1)		
	嫌い	350 (42.7)	156 (57.1)	67 (24.5)	127 (46.7)		
5 果実飲料	好き	392 (47.8)	219 (79.3)	94 (34.4)	79 (29.0)	***	***
	普通	371 (45.2)	55 (19.9)	146 (53.5)	170 (62.5)		
	嫌い	58 (7.0)	2 (0.7)	33 (12.1)	23 (8.5)		
6 緑茶・ウーロン茶	好き	513 (62.0)	154 (55.8)	161 (58.3)	198 (71.7)		***
	普通	286 (34.5)	109 (39.5)	106 (38.4)	71 (25.7)		
	嫌い	29 (3.5)	13 (4.7)	9 (3.3)	7 (2.5)		
7 コーラ・炭酸飲料	好き	258 (31.4)	154 (55.8)	55 (20.1)	49 (18.0)	***	***
	普通	371 (45.1)	93 (33.7)	140 (51.1)	138 (50.7)		
	嫌い	193 (23.5)	29 (10.5)	79 (28.8)	85 (31.3)		
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	好き	299 (36.7)	142 (51.4)	81 (30.3)	76 (28.0)	***	***
	普通	269 (33.0)	94 (34.1)	94 (35.2)	81 (29.9)		
	嫌い	246 (30.3)	40 (14.5)	92 (34.5)	114 (42.1)		
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	好き	273 (33.5)	49 (17.9)	88 (32.8)	136 (49.6)	***	***
	普通	264 (32.3)	86 (31.4)	100 (37.3)	78 (28.5)		
	嫌い	279 (34.2)	139 (50.7)	80 (29.9)	60 (21.9)		
10 スポーツ飲料	好き	220 (26.9)	149 (54.0)	46 (17.1)	25 (9.2)	***	***
	普通	386 (47.3)	102 (37.0)	154 (57.2)	130 (47.8)		
	嫌い	211 (25.8)	25 (9.1)	69 (25.7)	117 (43.0)		
11 食物繊維飲料	好き	144 (18.0)	94 (34.4)	27 (10.2)	23 (8.5)	***	***
	普通	387 (48.3)	111 (40.7)	143 (53.8)	133 (49.3)		
	嫌い	270 (33.7)	60 (24.9)	96 (36.1)	114 (42.2)		

* 1 () 内は n に対する %

* 2 検定は好き・嫌いで行った。

* 3 無回答・不明は除外

* p < 0.05 ** p < 0.01 *** p < 0.001

た、母親は「体に良い」、「喉が渴く」、「習慣だから」をあげていた。

乳酸菌飲料の「好き」、牛乳の「習慣」、果実飲料の「好き」、「楽しみだから」、コーラ・炭酸飲料の「好き」、コーヒー・紅茶(砂糖なし)の「習慣」、スポーツ飲料の「好き」、食物繊維飲料の「好き」に関して三者間に有意差 ($P < 0.001$) が認められた。

(5) 飲行動における類似点(女子中学生と両親)

女子中学生と父親・母親間の飲行動における一致率について、飲料の摂取状況・嗜好・摂取理由を表7-1, 2, 3に示す(検定はマクネマー検定による)。女子中学生と父親・母親間の「飲む」で一致率の高い飲料は緑茶・ウーロン茶(父親86.6%・母親88.4%)、果実飲料(父親72.5%・母親73.6%)、牛乳(父親66.7%・母親71.4%)、乳酸菌飲料(父親49.6%・母親53.3%)、コーラ・炭酸飲料(父親51.1%・母親48.9%)であり、低脂

表6 飲料の摂取理由

飲 物	飲む理由	全体		父 母		χ^2 検定	
		n = 828	n = 276	n = 276	n = 276	中学生 - 父親	中学生 - 母親
1 牛乳	体によい	457 ¹ (55.2) ²	146(52.9)	137(49.6)	174(63.0)		**
	美容	18(2.2)	6(2.2)	3(1.1)	9(3.3)		
	楽しみ	7(0.8)	4(1.4)	3(1.1)	0(0.0)		
	喉が渴く	160(19.3)	62(22.5)	54(19.6)	44(15.9)		
	好き	133(16.1)	61(22.1)	46(16.7)	26(9.4)	***	***
2 低脂肪牛乳	体によい	184(22.2)	65(23.6)	63(22.8)	56(20.3)		
	美容	14(1.7)	1(0.4)	3(1.1)	10(3.6)	**	
	楽しみ	4(0.5)	1(0.4)	3(1.1)	0(0.0)		
	喉が渴く	66(8.0)	30(10.9)	22(8.0)	14(5.1)	**	
	好き	31(3.7)	14(5.1)	12(4.3)	5(1.8)		
3 乳酸菌飲料	体によい	217(26.2)	67(24.3)	78(28.3)	72(26.1)	***	**
	美容	27(3.3)	9(*3.3)	2(0.7)	16(5.8)	*	
	楽しみ	43(5.2)	19(6.9)	7(2.5)	17(6.2)		
	喉が渴く	161(19.4)	70(25.4)	46(16.7)	45(16.3)		
	好き	183(22.1)	110(39.9)	33(12.0)	40(14.5)	***	***
4 野菜ジュース	体によい	212(25.6)	50(18.1)	98(35.5)	64(23.2)		
	美容	36(4.3)	12(4.3)	3(1.1)	21(7.6)	***	
	楽しみ	13(1.6)	10(3.6)	2(0.7)	1(0.4)	**	**
	喉が渴く	80(9.7)	26(9.4)	38(13.8)	16(5.8)	*	
	好き	74(8.9)	29(10.5)	27(9.8)	18(6.5)	**	*
5 果実飲料	体によい	97(11.7)	28(10.1)	40(14.5)	29(10.5)	**	
	美容	29(3.5)	11(4.0)	0(0.0)	18(6.5)	*	
	楽しみ	91(11.0)	59(21.4)	12(4.3)	20(7.2)	***	***
	喉が渴く	296(35.7)	108(39.1)	100(36.2)	88(31.9)		
	好き	286(34.5)	178(64.5)	53(19.2)	55(19.9)	***	***
6 緑茶・ウーロン茶	体によい	148(17.9)	60(21.7)	44(15.9)	44(15.9)		
	美容	33(4.0)	13(4.7)	2(0.7)	18(6.5)	**	
	楽しみ	57(6.9)	17(6.2)	19(6.9)	21(7.6)		
	喉が渴く	370(44.7)	145(52.5)	106(38.4)	119(43.1)	***	*
	好き	322(38.9)	106(38.4)	97(35.1)	119(43.1)		
7 コーラ・炭酸飲料	体によい	294(35.5)	77(27.9)	98(35.5)	119(43.1)	*	***
	美容	3(0.4)	2(0.7)	0(0.0)	1(0.4)		
	楽しみ	1(0.1)	0(0.0)	1(0.4)	0(0.0)		
	喉が渴く	78(9.4)	52(18.8)	9(3.3)	17(6.2)	***	**
	好き	305(36.8)	104(37.7)	109(39.5)	92(33.3)	***	**
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	体によい	10(1.2)	5(1.8)	3(1.1)	2(0.7)		
	美容	1(0.1)	1(0.4)	0(0.0)	0(0.0)		
	楽しみ	104(12.6)	38(13.8)	24(8.7)	42(15.2)	*	
	喉が渴く	119(14.4)	64(23.2)	36(13.0)	19(6.9)	***	
	好き	261(31.5)	119(43.1)	70(25.4)	72(26.1)	*	
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	体によい	115(13.9)	28(10.1)	54(19.6)	33(12.0)	***	*
	美容	5(0.6)	4(1.4)	1(0.4)	0(0.0)		
	楽しみ	3(0.4)	0(0.0)	1(0.4)	2(0.7)		
	喉が渴く	90(10.9)	17(6.2)	23(8.3)	50(18.1)	*	
	好き	113(13.6)	40(14.5)	35(12.7)	38(13.8)	**	**
10 スポーツ飲料	体によい	133(16.1)	9(3.3)	60(21.7)	64(23.2)	***	***
	美容	5(0.6)	3(1.1)	0(0.0)	2(0.7)		
	楽しみ	41(5.0)	30(10.9)	7(2.5)	4(1.4)	**	**
	喉が渴く	343(41.4)	146(52.9)	120(43.5)	77(27.9)		
	好き	128(15.5)	98(35.5)	20(7.2)	10(3.6)	***	***
11 食物繊維飲料	体によい	8(1.0)	6(2.2)	2(0.7)	0(0.0)		
	美容	22(2.7)	8(2.9)	0(0.0)	14(5.1)		
	楽しみ	25(3.0)	18(6.5)	4(1.4)	3(1.1)	*	
	喉の渴き	143(17.3)	69(25.0)	45(16.3)	29(10.5)		
	好き	81(9.8)	65(23.6)	7(2.5)	9(3.3)	***	***
	習慣	3(0.4)	2(0.7)	1(0.4)	0(0.0)		

* 1 複数回答、* 2 () はnに対する割合(%)。

* p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

表7-1 飲料の摂取状況における女子中学生と両親の一一致率

飲 物 中学生	摂取状況	父 母		母 母		χ^2 値 検定	
		飲む	飲まない	飲む	飲まない	中学生-父親	中学生-母親
1 牛乳	飲む	184 *1(66.7) *2	45 (16.3)	197 (71.4)	32 (11.6)	0.598	0.016
	飲まない	37 (13.4)	10 (3.6)	30 (10.9)	17 (6.1)		
2 低脂肪牛乳	飲む	52 (18.8)	40 (14.5)	50 (18.1)	42 (15.2)	1.798	0.049
	飲まない	54 (19.6)	130 (47.1)	39 (14.1)	145 (52.6)		
3 乳酸菌飲料	飲む	137 (49.6)	90 (32.6)	147 (53.3)	80 (29.0)	35.617	29.087
	飲まない	25 (9.1)	24 (8.7)	24 (8.7)	25 (9.0)	**	**
4 野菜ジュース	飲む	60 (21.8)	27 (9.8)	40 (14.5)	47 (17.1)	38.395	1.565
	飲まない	97 (35.3)	91 (33.1)	61 (22.2)	127 (46.2)	**	
5 果実飲料	飲む	200 (72.5)	67 (24.3)	203 (73.6)	64 (23.2)	47.041	44.169
	飲まない	7 (2.5)	2 (0.7)	7 (2.5)	2 (0.7)	**	**
6 緑茶・ウーロン茶	飲む	239 (86.6)	19 (6.9)	244 (88.4)	14 (5.1)	0.114	0.0
	飲まない	16 (5.8)	2 (0.7)	15 (5.4)	3 (1.1)		
7 コーラ・炭酸飲料	飲む	141 (51.1)	93 (33.7)	135 (48.9)	99 (35.9)	51.136	51.126
	飲まない	17 (6.2)	25 (9.0)	20 (7.2)	22 (8.0)	**	**
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	飲む	138 (50.0)	82 (29.7)	121 (43.8)	99 (35.9)	23.223	41.472
	飲まない	30 (10.9)	26 (9.4)	26 (9.4)	30 (10.9)	**	**
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	飲む	81 (29.5)	34 (12.4)	93 (33.8)	22 (8.0)	22.347	58.226
	飲まない	87 (31.6)	73 (26.5)	111 (40.3)	49 (17.9)	**	**
10 スポーツ飲料	飲む	148 (53.6)	85 (30.8)	104 (37.7)	129 (46.7)	39.010	90.881
	飲まない	20 (7.3)	23 (8.3)	14 (5.1)	29 (10.5)	**	**
11 食物繊維飲料	飲む	61 (22.1)	92 (33.3)	63 (22.8)	90 (32.6)	28.073	35.617
	飲まない	32 (11.6)	91 (33.0)	25 (9.1)	98 (35.5)	**	**

*1 実数 *2 () 内は%

* p < 0.05 ** p < 0.01

検定はマクネマー検定

肪牛乳、野菜ジュース、食物繊維飲料は「飲まない」であった。

女子中学生と父親・母親間では緑茶・ウーロン茶（父親92.4%・母親93.1%）、果実飲料（父親87.2%・母親90.8%）、乳酸菌飲料（父親73.0%・母親71.9%）、牛乳、コーラ・炭酸飲料を「好き」で一致率が高く、飲料の摂取理由においては牛乳、低脂肪牛乳、野菜ジュースを健康的な理由の「体に良い」、スポーツ飲料、コーラ・炭酸飲料、緑茶・ウーロン茶、果実飲料を生理的理由の「喉が渴く」で選択しており、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）、緑茶・ウーロン茶は女子中学生と母親間で嗜好的な理由の「好き」で選択しているのが一致していた。

4. 考 察

本調査より女子中学生とその両親（父親・母親）間に

次のような飲料の飲行動による差異または類似点が認められた。

女子中学生と両親の三者共に緑茶・ウーロン茶、牛乳を飲んでおり、特に女子中学生は、果実飲料、スポーツ飲料、コーラ・炭酸飲料などの清涼感のある甘味飲料を好み、両親より日頃よく飲んでいる。父親は野菜ジュース、母親はコーヒー・紅茶（砂糖なし）を女子中学生よりも多く飲む傾向がみられた。その背景には飲料の摂取理由が女子中学生は生理的理由、嗜好的な理由で、父親は健康志向による野菜不足の改善のため、母親は肥満予防のためのエネルギー制限などであると推測する。また、食物繊維飲料の摂取が両親に比べて女子中学生が高いのは生理的欲求を満たし、「体に良い」から飲むと言う理由も考えられる。

女子中学生・両親共に家庭内でよく飲んでいる飲料は牛乳、乳酸菌飲料、緑茶・ウーロン茶であり、女子中

表7—2 飲料の嗜好における女子中学生と両親の一一致率

飲 物	中学生	摂取状況	父親		母親		χ^2 値 検定	
			好き	嫌い	好き	嫌い	中学生-父親	中学生-母親
1 牛乳	好き	201 *1(73.1) *2	20 (7.3)	185 (67.0)	37 (13.4)	10.090	0.000	
	嫌い	47 (17.1)	7 (2.5)	38 (13.8)	16 (5.8)	**		
2 低脂肪牛乳	好き	110 (41.8)	31 (11.8)	94 (35.7)	47 (17.9)	17.443	0.044	
	嫌い	75 (28.5)	47 (17.9)	44 (16.7)	78 (29.7)	**		
3 乳酸菌飲料	好き	195 (73.0)	46 (17.2)	195 (71.9)	49 (18.1)	12.444	11.362	
	嫌い	17 (6.4)	9 (3.4)	20 (7.4)	7 (2.6)	**	**	
4 野菜ジュース	好き	93 (34.3)	24 (8.9)	73 (26.9)	43 (15.9)	55.654	6.395	
	嫌い	112 (41.3)	42 (15.5)	71 (26.2)	84 (31.0)	**	*	
5 果実飲料	好き	238 (87.2)	33 (12.1)	247 (90.8)	23 (8.5)	25.714	16.000	
	嫌い	2 (0.7)	0 (0.0)	2 (0.7)	0 (0.0)	**	**	
6 緑茶・ウーロン茶	好き	255 (92.4)	8 (2.9)	257 (93.1)	6 (2.2)	0.450	1.389	
	嫌い	12 (4.3)	1 (0.4)	12 (4.3)	1 (0.4)			
7 コーラ・炭酸飲料	好き	175 (63.9)	70 (25.5)	170 (62.5)	74 (27.2)	26.678	34.462	
	嫌い	20 (7.3)	9 (3.3)	17 (6.3)	11 (4.0)	**	**	
8 コーヒー・紅茶(砂糖入り)	好き	155 (58.1)	74 (27.7)	137 (50.6)	95 (35.0)	29.883	47.617	
	嫌い	20 (7.5)	18 (6.7)	20 (7.4)	19 (7.0)	**	**	
9 コーヒー・紅茶(砂糖なし)	好き	97 (36.5)	32 (12.0)	113 (41.4)	21 (7.7)	26.631	51.156	
	嫌い	90 (33.8)	47 (17.7)	101 (37.0)	38 (13.9)	**	**	
10 スポーツ飲料	好き	187 (69.5)	58 (21.6)	148 (54.4)	99 (36.4)	27.268	78.123	
	嫌い	13 (4.8)	11 (4.1)	7 (2.6)	18 (6.6)	**	**	
11 食物繊維飲料	好き	135 (51.4)	61 (23.2)	127 (47.6)	76 (28.5)	7.755	22.369	
	嫌い	33 (12.5)	34 (12.9)	27 (10.1)	37 (13.8)	**	**	

* 1 実数 * 2 () 内は%

* p < 0.05 ** p < 0.01

検定はマクネマー検定

生・父親・母親間でみると、緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶は父親に比べ、女子中学生と母親がよく飲んでいた。特に、牛乳、低脂肪牛乳は三者共に家庭での朝食時に飲むことが多く、次いで昼食時、夕食後であった。家庭外でよく飲んでいるものは、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料、コーヒー・紅茶、果実飲料であった。コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料は女子中学生と父親、果実飲料は女子中学生、スポーツ飲料は母親が家庭外で、女子中学生は学校、父親は職場、母親はカルチャー・スポーツセンターなどで飲んでると思われ、これらは女子中学生と両親の現代社会における生活環境が影響しているのではないかと推測する。

飲料の摂取理由別出現率の高い順からみると、生理的理由の「喉が渴く」、健康的理由の「体に良い」、嗜好的理由の「好きだから」、習慣、心理的理由の「楽しみだから」の順であった。特に緑茶・ウーロン茶、スポーツ

飲料、コーラ・炭酸飲料、果実飲料は女子中学生、緑茶・ウーロン茶、スポーツ飲料は父親、緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶（砂糖なし）は母親が生理的理由の「喉が渴く」で摂取していた。女子中学生と父親はスポーツ飲料の摂取率が高く、学校や職場での昼食時以外で飲んでいる。健康的理由で「体に良い」という栄養的見地から牛乳の摂取が三者ともに高く、父親は野菜ジュースも「体に良い」という理由で飲んでいるが、これは昼食が主に外食であるため、栄養的見地から野菜不足の改善のために飲んでいるものと推測する。

三者間における飲料の摂取理由の特徴として、女子中学生は「体に良い」、「好きだから」、「喉が渴く」、「楽しみだから」であり、父親「体に良い」、「喉が渴く」、「好きだから」、「習慣だから」で、母親は「体に良い」、「喉が渴く」、「習慣だから」をあげている。飲料の摂取理由について女子中学生と父親・母親間では牛乳、低脂肪牛

表7-3 飲料の摂取理由における女子中学生と両親の一一致率

飲 物 中学生	摂取状況	父 母		母 母		χ^2 値 検定	
		A	B	A	B		
1 牛乳	体によい	A 81*(44.0)*2	32 (17.4)	101 (51.3)	19 (9.6)	1.095	14.423
		B 42 (22.8)	29 (15.8)	52 (26.4)	25 (12.7)		**
	喉が渴く	A 15 (8.2)	36 (19.6)	14 (7.1)	37 (18.8)	1.639	4.491
		B 25 (13.6)	108 (58.6)	20 (10.2)	126 (63.9)		*
2 低脂肪牛乳	体によい	A 22 (42.3)	9 (17.3)	25 (50.0)	9 (18.0)	0.190	0.000
		B 12 (23.1)	9 (17.3)	10 (20.0)	6 (12.0)		
3 野菜ジュース	体によい	A 20 (33.3)	7 (11.7)	15 (37.5)	5 (12.5)	4.000	1.563
		B 18 (30.0)	15 (25.0)	11 (27.5)	9 (22.5)	*	
4 果実飲料	喉が渴く	A 45 (22.5)	38 (19.0)	43 (21.2)	44 (21.7)	1.375	0.107
		B 50 (25.0)	67 (33.5)	40 (19.7)	76 (37.4)		
	好き	A 34 (17.0)	98 (49.0)	39 (19.2)	101 (49.8)	59.504	64.313
		B 15 (7.5)	53 (26.5)	14 (6.9)	49 (24.1)	**	**
5 緑茶・ウーロン茶	喉が渴く	A 57 (23.8)	74 (31.0)	69 (28.3)	65 (26.6)	8.284	6.010
		B 42 (17.6)	66 (27.6)	39 (16.0)	71 (29.1)	**	*
	好き	A 44 (18.4)	55 (23.0)	55 (22.5)	42 (17.2)	0.810	1.724
		B 45 (18.8)	95 (39.8)	56 (23.0)	91 (37.3)		
6 コーラ・炭酸飲料	喉が渴く	A 53 (37.6)	16 (11.4)	36 (26.7)	24 (17.8)	6.353	2.361
		B 35 (24.8)	37 (26.2)	37 (27.4)	38 (28.1)	*	
	好き	A 29 (20.6)	56 (39.7)	25 (18.5)	65 (48.1)	28.900	36.961
		B 11 (7.8)	45 (31.9)	11 (8.2)	34 (25.2)	**	**
7 コーヒ・紅茶 (砂糖入り)	好き	A 27 (19.6)	46 (33.3)	40 (33.1)	31 (25.6)	3.905	1.208
		B 28 (20.3)	37 (26.8)	22 (18.2)	28 (23.1)	*	
8 コーヒ・紅茶 (砂糖なし)	好き	A 19 (23.5)	17 (21.0)	22 (23.7)	18 (19.3)	0.878	0.225
		B 24 (29.6)	21 (25.9)	22 (23.7)	31 (33.3)		
9 スポーツ飲料	喉が渴く	A 64 (43.3)	24 (16.2)	47 (45.2)	21 (20.2)	3.938	0.025
		B 41 (27.7)	19 (12.8)	19 (18.3)	17 (16.3)	*	
10 食物繊維飲料	体によい	A 9 (14.8)	5 (8.2)	6 (9.5)	7 (11.1)	6.261	4.654
		B 18 (29.5)	29 (47.5)	19 (30.2)	31 (49.2)	*	*
	喉が渴く	A 17 (27.9)	10 (16.4)	9 (14.3)	22 (34.9)	0.962	3.781
		B 16 (26.2)	18 (29.5)	10 (15.9)	22 (34.9)		

肯定回答率の多い項目を記載、A : 飲む, B : 飲まない。

* 1 実数, * 2 () 内は%.

* p < 0.05, ** p < 0.01 検定はマクネマー検定

乳, 野菜ジュースは健康的理由の「体に良い」で、スポーツ飲料, コーラ・炭酸飲料, 緑茶・ウーロン茶, 果実飲料は生理的理由の「喉が渴く」で、コーヒー・紅茶(砂糖なし), コーラ・炭酸飲料は嗜好的理由の「好き」で選択していると一致率が高かった。また、女子中学生はコーヒー・紅茶(砂糖入り), 緑茶・ウーロン茶は母親間で、コーラ・炭酸飲料は父親間で嗜好的理由の「好き」での選択の一一致がみられた。

女子中学生, 女子高校生, 女子大学生を比較してみると、三者共緑茶・ウーロン茶, 牛乳を両親と共に日頃良く飲んでおり、牛乳は「体に良い」理由で選択していた。三者の両親共緑茶・ウーロン茶を習慣的理由で飲んでいた。

女子中学生, 女子高校生は果実飲料, 乳酸菌飲料, コーラ・炭酸飲料などの清涼感のある甘味飲料を生理的理由で飲んでいるのが特徴的であった。女子大学生は飲料を

多種多様にわたって摂取しており、食物繊維飲料の選択理由から、現代の女子大学生のスリム志向を反映し、意識したものが現われ、情報や教育により影響されていると思われる。

以上のことから両親は飲料の摂取理由として、健康的理由、習慣的な固定観念から選択しており、一方、女子中学生は生理的理由から気分的に楽しみだから、などで甘味飲料、清涼感のある飲料を選択している傾向がみられ、摂取理由が多岐にわたっている。これらの背景には、女子中学生と両親の性・年齢別による生活体験と現代社会における生活環境の相違ではないかと推測する。

要 約

女子中学生とその両親（女子中学生、両親共276名）を対象に飲料の飲行動および嗜好について調査を行い、親と子の飲行動と嗜好の差異および類似点について検討し次の結果を得た。

1) 女子中学生は両親に比較して果実飲料、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料、乳酸菌飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）、食物繊維飲料を日頃よく飲んでおり、量も一日コップ1杯以上飲む者が70%以上と多かった。三者共良く飲んでいる飲料は緑茶・ウーロン茶、牛乳であった。

2) 女子中学生は牛乳、緑茶・ウーロン茶、乳酸菌飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）を家庭内で、果実飲料、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料は家庭外で飲む者が多く、牛乳は朝食時に飲む者が多かった。女子中学生と母親は牛乳、ウーロン茶を家庭内で、父親は野菜ジュース、コーヒー・紅茶を家庭内・外、食事時・食事外で飲んでいた。

3) 嗜好については、女子中学生は両親に比較して果実飲料、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）、乳酸菌飲料、食物繊維飲料を「好き・普通」で90%以上の者が好んで飲んでおり、野菜ジュースは嫌い傾向であったが、父親は好き傾向であった。母親は女子中学生より緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶（砂糖なし）を好んで飲んでいた。

4) 飲料別に摂取理由が異なり、女子中学生は両親に比較して果実飲料、コーラ・炭酸飲料、スポーツ飲料、食物繊維飲料を生理的理由の「喉が渴く」、「楽しみだ

から」で飲んでおり、果実飲料、コーラ・炭酸飲料、コーヒー・紅茶（砂糖入り）、乳酸菌飲料は「好き」で、牛乳、低脂肪牛乳は女子中学生・両親共に「体に良い」の理由で、野菜ジュースは父親の「体によい」の出現率が高かった。女子中学生に比較して両親は緑茶・ウーロン茶、コーヒー・紅茶を「習慣だから」の理由で飲む出現率が高かった。

5) 女子中学生と父親・母親間では緑茶・ウーロン茶、果実飲料、牛乳、乳酸菌飲料、コーラ・炭酸飲料が「飲む」で一致し、低脂肪牛乳、野菜ジュース、食物繊維飲料は「飲まない」に一致がみられた。「体に良い」という健康的理由では牛乳を選択しており、その他の飲料は嗜好的理由の「好き」、生理的理由の「喉が渴く」で選択していた。コーヒー・紅茶（砂糖入り）、緑茶・ウーロン茶は女子中学生と母親間で嗜好的理由の「好き」で選択していた。女子中学生の飲料の飲行動は食生活環境が母親の管理下にあると思われ、家庭における母親の影響があると推測する。

本研究は栄養指導研究会の活動によるものである。ご協力いただきました研究会員の皆様に謝意を表します。

参考文献

- 1) 総務庁統計局：家計調査年報 平成6年, p.393 (1994)
- 2) 日刊経済通信社調査出版部編：酒類統計食品年報 平成7年版, p.261～313 (1995)
- 3) 本田真美, 足立己幸：日本茶の飲用実態と食事, 栄養学雑誌, 47, 241～249 (1989)
- 4) 合田敏尚, 高瀬幸子, 大石邦枝, 蒔田和子：年齢別にみた牛乳飲用量と牛乳に対する嗜好, 栄養学雑誌 51, 235～241 (1993)
- 5) 永山育子, 滝田親友郎, 大塚謙：鳥取県における成人の牛乳飲用習慣が栄養摂取状況及び食品摂取パターンに及ぼす影響, 日本公衆衛生雑誌 37, 377～387 (1990)
- 6) 関千代子, 加藤栄子：飲料の摂取状況に関する研究, 淀大短期大学研究紀要 31, 203～213 (1992)
- 7) 関千代子, 加藤栄子：飲料の摂取状況に関する研究(第2報), 淀大短期大学研究紀要 33, 123～134 (1994)
- 8) 厚生省保険医療局健康増進栄養課：国民栄養の現状 平成5年度成績, 第一出版 p.85 (1995)
- 9) 高木廣文：HALBAV-4マニュアルⅡ基礎統計学 現代数学社 (1994)